

議会だより かどがわ

July
2018

7

No.155

おねがい・・・

- ・ 30年度補正予算2P
- ・ 委員会審査報告4P
- ・ 一般質問 3人が登壇7P
- ・ こんなことが決まりました10P

平成30年度
一般会計
補正予算

7億2100万円追加
総額75億100万円

今回の補正予算では以下のような事業も含まれています。



農業振興品目開拓事業
(フィンガーライムの栽培研究)
722万7千円



平城区画1号線道路改良等
(測量設計・地質調査・工事)
2800万円



心の杜施設改修工事等
1399万9千円



門川小学校体育館屋根改修工事等
2811万2千円



門川高校通線

防犯灯設置工事等
321万9千円



青色パトロールカー購入
191万3千円

全員一致
可決

強い農業づくり交付金
子ども医療費助成拡充
などを含む

平成30年 第2回定例会

定例会は、6月5日から6月18日まで14日間開かれました。主な審議内容は「平成30年度一般会計補正予算」「副町長、監査委員の選任同意」「門川町条例の一部改正」など、同意3件、承認3件、条例改正4件、条例制定1件、補正予算(委員会付託)4件、財産処分1件、陳情1件の合計17件です。6日には議員3人が登壇し、7問の一般質問がありました。

〔歳入〕

地方交付税	1億7521万3千円	追加
国庫支出金	415万4千円	追加
県支出金	3億4337万9千円	追加
財産収入	22万円	追加
繰入金	9000万円	追加
諸収入	1023万4千円	追加
町債	9780万円	追加

〔歳出〕

議会費	78万2千円	追加
総務費	2759万6千円	追加
民生費	2151万7千円	追加
衛生費	3223万6千円	追加
農林水産業費	3億4071万3千円	追加
商工費	1423万8千円	追加
土木費	2億1037万4千円	追加
消防費	1048万4千円	追加
教育費	6306万円	追加

【特別会計】

介護保険特別会計	歳入・歳出	243万3千円(追加)
人件費・給付費 など	総額	15億7326万3千円

簡易水道特別会計	歳入・歳出	33万円(追加)
職員手当など 人件費	総額	1092万1千円

水道事業特別会計	営業費用	145万2千円(追加)
給料など 人件費	水道事業費用	2億7988万1千円

総務財政常任委員会

主な質疑

総務課

「防災専門員」についての詳細は。

区内閣府の認定する「地域防災マネージャー」制度を活用し、退職自衛官を防災専門員として雇用するもの。

嘱託で1年ごとに更新し、5年程度の雇用を予定している。

地域防災計画の見直し、門川高校、社会福祉協議会、各種団体などへの防災教育、専門知識の普及などを行う。既に

県内10市町村で14人、県で6人が活動している。

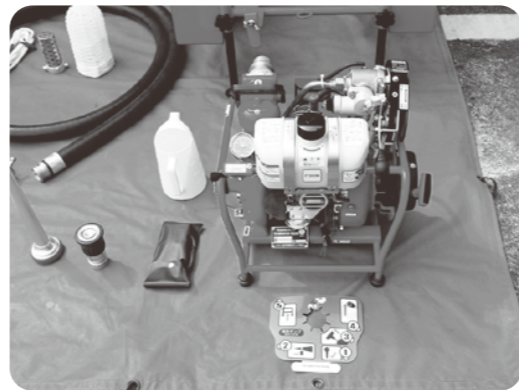
門川川高校通線に設置する防犯灯と町内に設置予定の道路反射鏡の数は。

防犯灯9基、反射鏡は新設が3基、取替えが4基の予定。

門山林火災用可搬ポンプについて。

本年度、消防団第3部、4部への配備を予定している。順次配備していく。

小型のポンプで、既存の消防ホースを連結し使用する。



可搬ポンプ



加草3区 避難道路舗装



本町、上町区 防災用具庫

自主防災組織への整備補助金150万円について。

例年5件ほどの申請があり、30万円ずつ補助している。

まちづくり推進課

本年度募集する「地域おこし協力隊員」の住む場所は、あらかじめ提示できるのか。

昨年調査した空き家など、候補地は確保している。

地域おこし協力隊の昨年の応募状況は。

昨年は2人のみの応募で、今後も厳しい状況ではあるが、応募者確保・充足を目指したい。

「心の杜」改修工事の期間は。

11月の休館日を含め4日間程度。

本委員会の意見・提言

更なる産業振興、インフラ整備、地域活性化等の強化を望む。(記 米良 格)

文書などを効率よく保管、管理していくために導入し、書類保管スペースを格段に減らすことができる。

文教厚生常任委員会

主な質疑

町民課

健康かるてシステムの内容は。

住民の健診履歴を管理するシステム。

食品衛生推進大会は毎年行われるのか。また、大会の趣旨は。

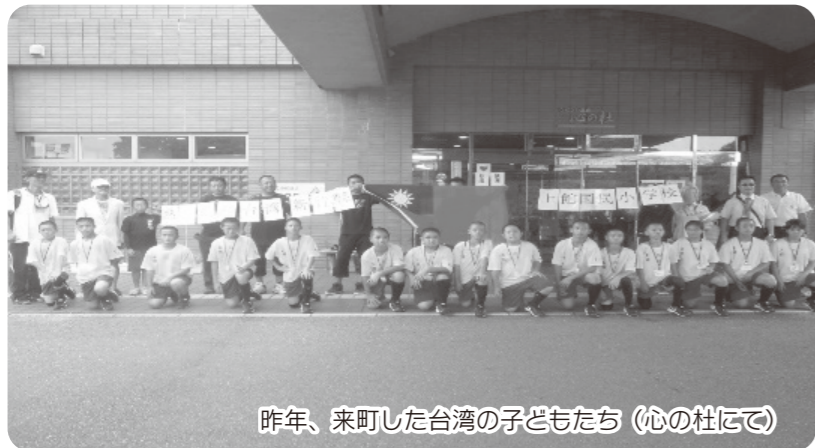
毎年ではなく、県内を9地区に分けて持ち回りで開催している。趣旨は食品衛生への意識向上を図るもの。

社会教育課

コミュニティ助成事業の申請状況は。

平成30年度は8地区が申請し、西条町地区が採択され、内容として子ども神輿が約120万円、太鼓が約77万円、ハッピが約49万円。

残り7地区の申請内容は、放送施設整備5地区、空調設備整備1地区、祭り用具等整備1地区。



昨年、来町した台湾の子どもたち(心の杜にて)

昨年度の東アジア民間交流促進事業の様子



庵川漁港でのせり見学

地域における婦人会の数と活動内容は。

現在、南町、上町、東栄町、宮ヶ原、庵川西の5地区と個人で参加している方もおり、みんなと朝市、健康ロードレース、子育て応援フェスティバルに協力するほか、託児ボランティア、廃油石けん作り等の活動をしている。

文化協会の40周年記念事業の内容は。

26団体が加入しており、40周年記念事業は、記念講演、記念誌の発行などを考えている。

教育総務課 共同調理場

新規の共同調理場の広さは。

1400食の規模で計画している。



撤去予定のラウンドハンク

教師用教科書・指導書の改訂は何年ごとか。

改訂は、基本的に4年に1度。

門川小学校体育館屋根改修工事の期間と工法は。

夏休み期間を利用し、今の屋根を残したままその上に新しい屋根を作るカバー工法で行う。

福祉課

子育て人づくりセンターの防犯カメラ設置数は。

4台設置する予定。

今回の子ども医療費助成の13歳〜15歳の対象者は。

4月1日の中学生の数は483人。なお0歳〜小学6年生までの既存数が1964人で合計2447人となる。

子育て人づくりセンター遊具のラウンドハンクの撤去は。

子どもがぶら下がって回る遊具で、回る時に予想以上にスピードが出て危険なため。(記 小林)

産業建設常任委員会

主な質疑

まちづくり推進課

閻小園白太鼓等の補助金の支出方法は。

閻伝統文化継承として補助金交付申請によるが、食糧費は対象外で旅費や道具の修繕費などが対象。



小園白太鼓(昨年の日向市国際ジュニアサーフィン大会にて)

閻伝統文化の継承に係る補助金について、その効果等はどうか。

閻小園白太鼓の他にだんじり振興会や中山神社裸参りを門川三大祭りとしているが、伝統文化の継承のみならず観光面での集客、地域の活性化があげられる。

農林水産課

閻地域振興券の受付開始はいつごろを考えているのか。

業者は5人で1人増加の予定。また国内で産地化しているところは無く本町が初めて。現在20aの面積。味は酢みかんのようで食感はプチプチしている。料理の副菜などでの使用が多いのではないかと考える。

閻強い農業づくり交付金事業で新たな施設に高精度の選果ラインと保冷库の設置をするが、旧選果場の取扱は。

閻水産多面的機能発揮対策事業の小型ブロックの用途は。

閻引き続き使用する。

閻海藻の着定基質として藻場造成用の小型ブロックの用途は。

閻新たな選果ラインの対象はミニトマトのみか。

閻新庁舎建設地への取り付け道路について。

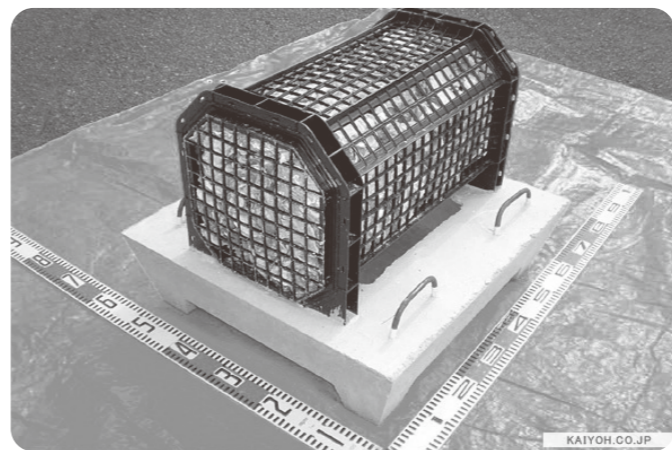
閻治山林道事業で砂防土砂の土捨て場やその量はどうか。

閻現在の幅員6mを10mに拡張。両脇に2.5mの歩道を設置し、車道は片側2.5mで31年度に完成予定である。

閻1000m程度を予定しており、地元等と協議して選定は進める。

閻フィンガーライム産地化事業は。また味覚や食感。

閻現在町内2カ所で試験的に栽培しており、農



藻場造成用小型ブロック

建設課

閻新庁舎建設地への取り付け道路について。

閻現在の幅員6mを10mに拡張。両脇に2.5mの歩道を設置し、車道は片側2.5mで31年度に完成予定である。

閻牧山地区の曾根米の山線道路新設改良事業の内容は。

閻今年度は測量設計・地質調査で600mを予定している。次年度に用地買収を行い、さらに次の年度で工事の予定である。

閻橋梁の修理方法は。

閻橋梁長寿命化計画に基づき修繕を行うもので、橋面舗装の打換えや断面修復を行う。

閻街区公園の防犯カメラ設置の効果は。

閻今回は宮ヶ原第一街区公園を予定している。これまでの効果としては、いたずら等の減少があげられる。

環境水道課

閻清掃工場の工事請負費の内容は。

閻管理棟の雨漏りや側溝等の修理。また、段ボールなどを保管するストックヤードを新設する。

(記 菊地)

側溝清掃問題

いか慎重に研究を進める。

閻超高齢化社会を迎えるにあたって、側溝清掃を行うには困難な面が多く出現する。地区によっては何年かおきに業者に委託しているが、委託料が高額である場合が多く、負担が大きくなるので、以下のとおり問う。

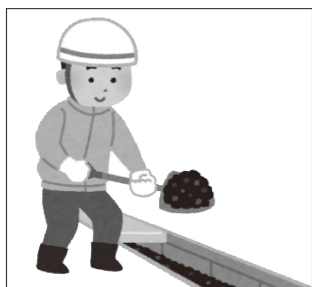
- ① 各地区の状況は。
- ② 側溝清掃に対して補助金を交付する考えは。
- ③ サテライト補助金を活用しては。

町長

① 市街地19区域のうち4地区が専門業者への委託により様々な方法で清掃を実施している。

② 各地区の実施方法が様々であり、公平性を欠く可能性があると考えられる。しかし、現状の支援では不十分となることから考えられるので、全体のバランスを考えながら、新たな支援が出来る

③ 本町においては、人口減少や少子高齢化などにより、特に清掃活動において参加者不足で十分に行われない現状があるが、一方で地域活動は、地域住民の親睦や連携の場・地域課題の解決の場として、共働協力での取り組みが重要であると考えられる。よって補助金の委託料への活用については、今後の検討課題とし、引き続き地域住民の方々からのご理解ご協力をいただきたい。



あなたの声を町政に 一般質問 3人が登場!

一般質問は議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの方針を問うものです。



「ラジオ体操ボランティア」の結成を

なかじょう よしかつ
中城 資力

町長 地域づくりにつながって欲しい

閻本年7月26日に「夏季节巡回公開ラジオ体操」が本町で開催されることとなった。5月には15人がラジオ体操指導員の免許を取得した。良い機会なので、「ラジオ体操ボランティア」を結成し、夏休みの小中学校のラジオ体操推進に協力してはどうか。

町長 ラジオ体操は誰もが経験したことがあり、



昨年の町一斉ラジオ体操(五十鈴小学校)

健康の維持増進につながる。更に世代間交流、地域間交流を深めるツールにもなる。「学校づくり」「地域づくり」を一体的に推進する上で、ラジオ体操は学校と地域をつなぐ大きな役割を担っている。「ラジオ体操ボランティア」が結成され、その活動が児童・生徒の健全育成、町民の健康増進、ひいては地域づくりにつなげていけばと思つ。



米良 格

防災体制は大丈夫か

町長 地区会長、防災士、消防団と連携強化

町長 町5月27日(日)の町一斉避難訓練の様子は、

町長 参加者数は2837人で、昨年と同程度。子供の参加や防災リュックの持参が少ない地区があった一方、昨年より増加し、実践的な訓練ができていた地区もあった。

町長 消防団員の確保も含め、火災、水害などの災害と大規模災害時の役割のシミュレーションは行っているのか。

町長 適切な人員は確保している。

町長 3つのマニュアルに基づき基本行動を示している。「町消防団安全管理マニュアル」、「町水害対応マニュアル」、「町消防団震災対応マニュアル」である。



町一斉避難訓練 城屋敷地区

町長 町内を3つのグループに分け、時間差で放送。設置業者と協議し改善していく。

町長 町内を3つのグループに分け、時間差で放送。設置業者と協議し改善していく。

町長

町長 町内を3つのグループに分け、時間差で放送。設置業者と協議し改善していく。

町長 町内を3つのグループに分け、時間差で放送。設置業者と協議し改善していく。

町長 本町の工事代金の支払い状況は

町長 本町の建設業者は、一昨年の災害復旧工事などで貢献している。

町長 本町の工事代金支払いは、約款規定で、支払請求書受理後40日以内となっているなかで、ほとんどの工事代金は40日目に支払われている。工事代金支払いをできざる限り早めることはできないか。

町長 工事約款には、完成後支払い以外に前払金・部分払いがあり、この利用により資金調達ができると。

町長 今後も従来どおり。

町長 町建設課、農林水産課など担当課において、業者からの早期支払いの要望はないのか。

町長 建設課長

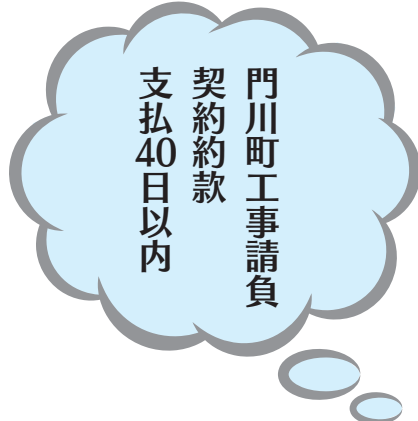
町長 農林水産課長

町長 いくらかの要望はある。会計課には打診している。

町長 本町としては、従来どおり。

町長

町長 前払金・部分払いの積極的活用を願いたい。



門川町工事請負契約約款 支払40日以内

町長

町長 本町では「消防団震災対応マニュアル」を作成し、消防団員自らが「率先避難団員」となり、地域住民を避難させるとなっている。

町長 防災力を高めるため、現在、19人の消防団員が取得している。

町長 海岸沿いに水害から守る開閉式の扉があるが、開閉は一人でも短時間にできるのか。

町長 宮崎県北部港湾事務所が防波堤の開閉部に設置し、点検と操作を門川漁協と庵川漁協に委託している。一人でも短時間に開閉できる。高潮や台風などの災害時に使用し、大津波が予想される時は危険が伴うので操作しない。



門川湾のウニ

町長 ウニの養殖事業研究は門川湾の磯焼けが心配され、ウニの駆除に悩まされているが、ウニの養殖事業の研究に取り組んでほしい。

町長 門川漁協の「門川湾を再生する会」と庵川漁協の「庵川藻場保全会」が、毎年十数回ウニ除去作業を行っている。

町長 ウニの養殖については、神奈川県の水産技術センターが野菜を餌とした研究を進めているが、まだ実用化されていない。従来の藻場保全活動を基本に取り組みしていきたい。

水永 正継

地震・津波時、住民は避難できるか

町長 避難困難地区はないと考える

町長 消防庁が作成した「津波避難対策マニュアル」に避難できる限界距離を「最長でも500m程度を目安とする」とあり、本町もこの数値を用いている。

町長 町内各地に自主防災組織の定めた一時避難所が68カ所あり、500mの円が幾重にも重なっている。避難が困難な地区はないと考えている。

町長 町内各地に自主防災組織の定めた一時避難所が68カ所あり、500mの円が幾重にも重なっている。避難が困難な地区はないと考えている。

町長 町内各地に自主防災組織の定めた一時避難所が68カ所あり、500mの円が幾重にも重なっている。避難が困難な地区はないと考えている。

町長 町内各地に自主防災組織の定めた一時避難所が68カ所あり、500mの円が幾重にも重なっている。避難が困難な地区はないと考えている。

町長 町内各地に自主防災組織の定めた一時避難所が68カ所あり、500mの円が幾重にも重なっている。避難が困難な地区はないと考えている。



西ノ山避難所から見た上納屋方面の街並み

町長 「株式会社メタルフオージ」があり、福祉避難所として、「神舞の里」、「ふれあい地球館」、「生活介護にっこり」がある。

町長 「株式会社メタルフオージ」があり、福祉避難所として、「神舞の里」、「ふれあい地球館」、「生活介護にっこり」がある。

町長 「株式会社メタルフオージ」があり、福祉避難所として、「神舞の里」、「ふれあい地球館」、「生活介護にっこり」がある。

町長 「株式会社メタルフオージ」があり、福祉避難所として、「神舞の里」、「ふれあい地球館」、「生活介護にっこり」がある。

人事案件

副町長の選任同意

現副町長が本年6月30日をもって任期満了に伴い、次期副町長の選任の同意を求めらるもの。
金丸 隆康氏(再任)
(可決・全員賛成)

監査委員の選任同意

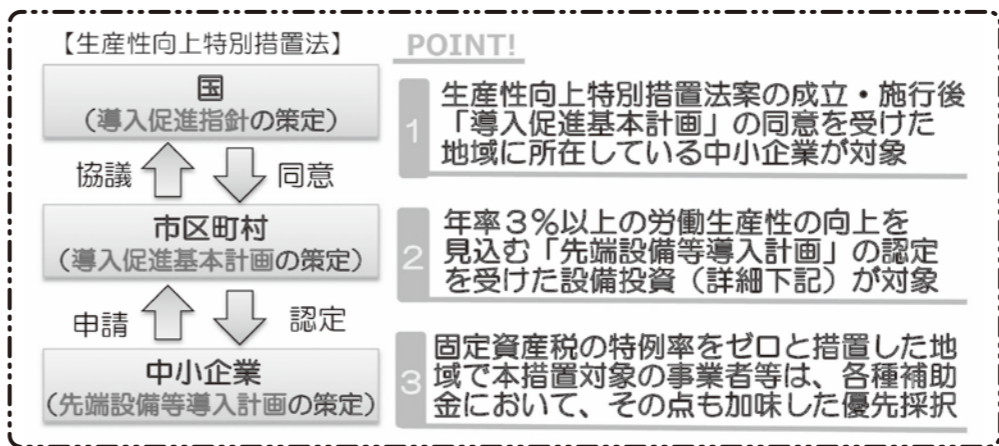
現委員が本年6月30日をもって任期満了に伴い、次期委員の選任の同意を求めらるもの。
黒木 元吉氏(再任)
(可決・全員賛成)

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

現委員が本年7月15日をもって任期満了に伴い、次期委員の選任の同意を求めらるもの。
吉塚 陽太郎氏(再任)
(可決・全員賛成)

条例の改正

町税条例の一部改正
生産性向上特別措置法の施行に伴い、市町村の導入促進基本計画に適合し、労働生産性を3パー



セント以上向上させるものとして認定を受けた中小企業設備に対する固定資産税について、特例として課税標準の割合をゼロ以上2分の1以下の範囲内とするが、本町ではゼロとすることに決定し算定するもの。
(可決・全員賛成)

国民健康保険条例の一部改正

改正内容として
①今年度から県を保険者とし、財政運営の責任主体とする国保制度改革が実施されることに伴い、税率を改正するもので、前年度の税率から0.3引き下げて9.3パーセントとする。
②国民健康保険税の納付方法を口座振替を原則とすることに改正するもの。
(可決・全員賛成)

子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正

子育て中の家庭の経済的負担をさらに軽減するとともに、子どもの健全な発育の促進など、子育て世帯への一層の支援を図るため、子どもの医療費の一部助成を、現在の小学生から中学生までに拡充するもの。
(可決・全員賛成)



条例の制定

町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定

町内で事業を展開する居宅介護支援事業所の運営基準について、その人員や資格等を定めるもの。
(可決・全員賛成)

財産の処分

土地所有者の中村生産森林組合と造林者門川町との間で契約締結した「町行分収造林契約書」に基づき、
スギ 8312本 4015.50㎡
ヒノキ 870本 206.09㎡
を売却処分した。
処分方法 指名競争入札
仮契約金額 823万5千円
契約相手方 耳川広域森林組合
(可決・全員賛成)

(記 小林)

視察報告

去る5月8日、議員全員、町関係職員総勢23人で、旭化成細島1区事業所内の「ウラン関連廃棄物・地下保管施設」の視察を行った。
担当者の説明・案内により、さっそく地下施設に入り、整然と並べられた低レベル放射性廃棄物の詰まったドラム缶を確認した。
ウラン溶液を中和・固化した物質、除染時に発生したコンクリート片などドラム3300本、使用済みポンプ、タンク

など機材等(ドラム缶換算4700本分相当)が保管されている。

保管庫扉は、高さ8トンの「水密扉」を使用。水没しても内部は浸水しないとのこと。
地震や津波を想定し、地下8mに建設。コンクリート厚は、床1.4m、壁・天井は1.1m、その上を1mの盛土保護。
震度7、高さ15mの津波にも耐えられる構造とされる。本町は、日向市と共に安全協定を結んでいる。
(記 米良 格)

要望活動

町執行部とともに去る5月30日に日向土木事務所ならびに7月5日に県土整備部に要望活動を行いました。内容は次のとおり。

国道388号の早期整備

「五十鈴く小園間」は国道10号からの進入部にあたり、通過交通量も多く、住民にとって大変危険な道路状況となっている。

また、「庭谷く黒木間」は幅員狭小であるが沿線集落の存続発展に重要であり、加えて北方方面とも連絡し、国道の機能上も重要な区間で、2つの区間の早期整備を要望する。

加草く中村線の県道認定

県道認定の要件に合致しないとの回答を得、町としても理解してい

るが、認定要件の一つに「高速自動車国道等のインターチェンジと密接な関係のある一般国道又は都道府県道とを連絡する道路」があり、この要件に準じて重要な路線であると考えている。今後とも路線整備に向けた指導をお願いする。

五十鈴川の河川改修及び防災対策

河川に並行する国道388号周辺に優良農地と集落が形成されている。過去には洪水被害が度々発生し、特に一昨年の台風では、流域の人家や農地に大きな洪水被害が発生し、被害当事者から対策を求める意見が多く寄せられた。抜本的対策が必要である

ので河川整備計画策定に続いて、早期に本格的な河川改修を要望する。
(記 菊地)

県道 八重原く延岡線の改良整備促進

三ヶ瀬集落の唯一の生活道路及び通学路であり、基幹産業の林業や養鶏業の産業道路でもある。当区間の早期完成により、地域の安心安全



要望書を土木事務所に提出

議会活性化特別委員会

先の3月定例会にて、設置した本委員会は、現在、議会基本条例制定の先進町議会の例を参考に、検討項目を48項目挙げ、3グループに分かれて、検討を重ねています。

今後、県内の先進議会へアンケートや視察研修を行いながら検討していく予定です。

また、地区会長・自治公民館長連合会から要望のあった、議会議員定数削減及び町長・町議会議員選挙の同時実施調査委員会(仮称)の設置は、新に特別委員会を設けずに、本委員会にこの2項目を付託して検討することになりました。前述の基本条例と平行して検討していきます。

(記 森川)

西門川小中学校読書ボランティア
『あおばぶっく』
メンバー9人(平成30年度)
代表は、坂本 美紀さんです

「あおばぶっく」のメンバーは、西門川小中学校児童・生徒の保護者と同校卒業生の保護者、地域の方ならびに図書支援員です。

活動は、メンバー2～3人が教室で、朝の授業が始まる前の約20分間を利用して、毎週月曜日は小学校1・3年生、木曜日は小学校全校児童、火曜日に中学1年生と2年生に隔週で読み聞かせを行っています。さらに1学期に1回小中学校それぞれで全学年を対象に合同読み聞かせを行っています。

12年前に小学校で地域の方6人による読書ボランティアから始まり、保護者による読み聞かせ、平成26年度から中学校の読み聞かせも始まりました。

平成26年10月1日、小中合同の読書ボランティアの会を組織して活動していくことになり、名称を、「あおばぶっく」×「Book」で「あおばぶっく」としました。

読み聞かせが大好きな子どもたちの笑顔を見て、私たちも元気をもらっています。

メンバーが少ないので、地域の方の力を借りながら子どもたちの読書活動の充実に積極的に取り組んでいきます。

(編 森川)

シリーズ

地域の力特集



↑メンバー活動中

↓読み聞かせ打ち合わせ中



議場にきてみらんね

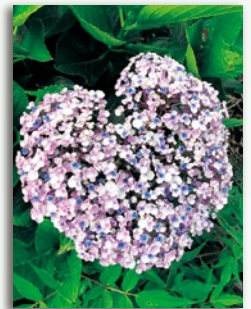
6月議会には17人の方に傍聴いただきました。次回の定例会は9月です。

心よりお待ちしております。

お問い合わせ：議会事務局

TEL 63-1140 (内線271)

議会だよりについて、
町民の皆さまの
ご意見・ご感想をお
聞かせ下さい。



編集後記

第2回定例会は、平成30年度当初予算に肉付する補正予算が主な議案でした。主な事業として、強い農業づくり交付金を活用して、ミニトマトの安定的な出荷体制の構築を図るため新たに選果場の整備、子ども医療費助成を中学校卒業まで年齢拡充を行う等の予算が計上されました。その他、人事案件など計10議案を可決し、閉会しました。

また、地区会長会から議員定数の削減並びに町長・町議会議員の同時選挙実施に関する要望書が提出され、議会活性化特別委員会に付託されました。

今後、様々な視点から検証を行ってまいりたいと考えています。

議会広報編集特別委員会

(記 小林)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 森川 春夫 |
| 副委員長 | 米良 格 |
| 委員 | 小林 芳彦 |
| 委員 | 菊地 稿治 |
| 委員 | 中城 資力 |

- 発行者／門川町議会議長 森 誠一
- 編集／議会広報編集特別委員会
- 〒889-0696
- 宮崎県門川町本町1丁目1番地
- TEL(0982) 63-1140
- 印刷／ヤマシタ印刷

